

令和7年度 第4回学校運営協議会会議報告書

このことについて、我孫子市学校運営協議会規則第12条の規定について、次のとおり報告します。

(令和8年3月4日実施)

主な議事	発言者	協議・発言等の概要
<全体会> 1. 布佐中学校区 会長挨拶 2. 協議会 ・今年度の 振り返り	布佐中区 会長 布佐小 会長 布佐南小 会長 布佐中 会長 副会長	司会：布佐小教頭 記録：布佐小教務 学校運営協議会委員が核となり、学校教職員、地域、PTAの絆を深め、実践を続けていくことが大切。 座長：布佐中区会長 ① 布佐小学校 新校長のもと、地域の人材を活用した充実した活動を行うことができた。引き続き次年度も学校と連携を図り、よりよい教育活動を展開していきたい。 ・布佐カリキュラム講師（井上二郎、岡田武松） ・読み聞かせ ・学習支援（家庭科ミシン学習、図工のこぎり支援） ・昔遊び講師 ・持久走記録会の支援 ・創立記念行事 ・布佐地区合同防災訓練（1年生が参加） ・6年生を送る会 運営協議会を通して、児童の活動の様子を共有できた。次年度は、3校の校長との連携を強化したい。 ② 布佐南小学校 学校と定期的に打ち合わせを行いながら進めてきた。 地域の理事が毎年変わってしまうため、連携に課題がある。また、高齢者と児童とどのように接点を持たせたらよいか検討している。来年度以降も、実現可能な取り組みを続けていきたい。 ③ 布佐中学校 今年度も多くの学校行事に関わることができた。 ・布佐中学生徒との対話（年3回実施） ・布佐中学校歌声発表会（PTAや保護者とともに参加） ・小中一貫の日の見学 ・制服バンク

<ul style="list-style-type: none"> ・令和8年度 布佐中区小中一貫教育年間計画について 	<p>布佐南小 教務主任</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・着付け教室、調理実習補助 ・夏休み学習会 ・体育祭 ・職場体験 ・布佐カリキュラム（語り部に聞く） <p>今後も学校の力になれるように尽くしていく。</p> <p>【資料を説明し周知する】</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・令和8年度 布佐中区小中一貫教育基本方針（グラントデザイン）の承認について 	<p>布佐中 校長</p> <p>布佐中区 会長</p>	<p>【資料を説明する】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援部会の新設 <p>承認・非承認について採決をとる。</p> <p>令和8年度布佐中区小中一貫教育基本方針（グラントデザイン）が全会一致で承認される。</p>
<p><布佐小協議会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育活動報告 ・学力の向上について ・学校評価結果について ・学校経営について ・Cチェックシートについて 	<p>司会 会長 記録 教頭</p> <p>教務主任</p> <p>教務</p> <p>教頭</p> <p>校長</p> <p>教頭</p>	<p>【第3回運営協議会以降の教育実践について、プレゼンテーション用ソフトを使用して説明】</p> <p>【プレゼンテーション用ソフトを使用して説明】</p> <p>【学校評価アンケート結果（資料）を使用して説明】</p> <p>【資料を使用して説明】</p> <p>【資料を使用して説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現時点で布佐小学校学校運営協議会はどの段階（ステージ）にあるか。 ・次の段階に進むためには何が必要か。
<ul style="list-style-type: none"> ・協議及び意見交換 	<p>委員</p> <p>委員</p>	<p>布佐カリキュラムは、コロナ以前の形に戻し、中学校では語り部の話を直接聞く機会を設けることができ、大変有意義だった。校長から学校の課題について聞き、力になりたい、地域にできることはないか考えていきたい。今年度を振り返って、ご意見をいただきたい。交通ルールやマナーの指導について、一昨年行った見守りを再び行いたい。声をかけるのは、地域の大人の役割だと思う。</p> <p>学校からの話を聞き、豊かな教育活動が行われていると感じた。保育園に卒業生やその友達が度々訪れてくる。園児と一緒に遊んでくれたり、話を聞いてくれたり、とてもしっかりしている。マナーも良い。朝通勤していると、子どもたちが挨拶を返してくれる。安全管理員さんとのやり取りもほほえましい。</p>

次年度の予定	委員	保護者の関心を高めるため、園では給食を一緒に食べるなど、保育園に来る機会を定期的に設けている。関りを持てる機会が増やせるとよい。
	校長	アンケート結果の「わからない」をいかに減らしていくか、学校への興味関心を高める対策が必要。学力向上については、点数にとらわれず、校長からあった「将来の選択肢や可能性を広げるため」に向けてほしい。ネットトラブルについてどうか、使用時間と学力や友人関係に相関があるか。
	委員	ラインのトラブルが増えている。事実確認が難しいため、解決が困難となっている。管理者である保護者へ注意喚起し、使用のルールについて再度確認を依頼した。アンケート等で使用時間を調査したが、全体として使用時間自体は長くなかった。相関関係も出ていない。
	教頭	高学年のスマホの所持率は。
	委員	ほぼ全員が持っている。持っていないのは数人程度。
	委員	スマホは必需品になっている。低学年でも必要があり持たせている。使い方について、利用制限をかけるなどして親が管理しているが、全てを把握できているわけではない。
	会長	学力について、在籍人数と関係があるように感じた。学習を「将来の選択肢や可能性を広げるため」という考えに同感。また、学校の課題を包み隠さず話をしてくれたことにも好感を持った。
教頭	4月の不祥事からここまで大変苦勞されたのではないかと思う。先日「6年生を送る会」を見学したが、1～5年生のエネルギーが強く感じられ、素晴らしい会だった。PTA活動について、総会等で運営協議会や地域学校協働活動について周知し、支援できることを考えていきたい。 【令和8年度の日程を資料で確認】	

傍聴人 0人（発言者数0人）